

平成28年度 第3回 田川市地域公共交通会議 会議録

■ 日 時：平成29年1月12日（木） 10時30分～11時00分

■ 場 所：田川市役所 1階 大会議室

■ 出席者：20人/26人中（うち代理出席者数4人）

	委員名		役職等	出欠
会長	須藤 乃式	委員	田川市建設経済部長	○
	米田 昭彦	委員	田川市総務部長	○
	水上 茂	委員	田川市市民生活部長	○
	浜田 和仁	委員	西鉄バス筑豊(株)田川支社長	○
	中川原 達也	委員	(社)福岡県バス協会専務理事	○
	山本 涼治	委員	(有)つばめタクシー代表取締役	×
	中山 隆博	委員	田川構内自動車(株)執行役員	×
	嘉久 礼子	委員	福岡県筑豊地区タクシー協会 会長	×
	新具 重信	委員	平成筑豊鉄道名誉駅長会	○
	藤光 若生	委員	田川市障害者団体連絡協議会長	×
	堀江 一夫	委員	田川市老人クラブ連合会長	○
	圖師 利雄	委員	田川市区長会専務理事	○
	西 正博	委員	国土交通省九州運輸局福岡運輸支局	代理出席 主席運輸企画専門官 河津 隆幸氏 随行者 中蘭 裕蔵氏
	加賀 利広	委員	西鉄グループバス労働組合書記長	○
	内田 大亮	委員	全国自動車交通労働組合総連合 福岡地方連合会書記長	×
	松尾 和敏	委員	国土交通省九州地方整備局 北九州国道事務所筑豊維持出張所長	×
	福江 智子	委員	福岡県田川県土整備事務所用地課管理係長	○
	深瀬 千尋	委員	田川警察署交通課長	代理出席 交通総務係長 古野 勲氏
副会長	文屋 俊子	委員	公立学校法人福岡県立大学 人間社会学部公共社会学科 教授	○
	田代 英美	委員	公立学校法人福岡県立大学 人間社会学部公共社会学科 教授	×
監査委員	鶴我 正司	委員	田川商工会議所専務理事	○
	永松 博己	委員	後藤寺商店街振興組合副理事長	○
	江頭 直行	委員	伊田商店街振興組合代表理事	○
監査委員	石松 祥宏	委員	平成筑豊鉄道(株)総務課長	○
	幸野 茂	委員	九州旅客鉄道(株)筑豊篠栗鉄道事業部長	代理出席 運輸主任 八木 洋輔氏
	堺 裕之	委員	福岡県企画・地域振興部交通政策課交通総務係長	○

■ 会議資料（当日配布）

- ・レジュメ（平成28年度第3回田川市地域公共交通会議）
- ・議題資料（西鉄バス田川（快速）小倉線について、田川市コミュニティバス運行状況と事業評価）
添付資料 田川市コミュニティバス輸送実績（H27.10月～H28.9月）

■ 議事次第

1 開会

2 議題

- (1) 西鉄バス田川（快速）小倉線について
- (2) 平成28年度田川市コミュニティバス運行状況と事業評価について

3 その他

■ 議事録

1 開会

事務 局：定刻につき、只今から「平成28年度第3回田川市地域公共交通会議」を開会する。
それでは早速議事に入る。議事の進行については、規約に基づき、田川市地域公共交通会議会長である須藤会長が行う。

2 議題

(1) 西鉄バス田川（快速）小倉線について

須藤 会 長：早速議題について審議に入る。まずは、議題1について事務局から説明をお願いしたい。

事務 局：西鉄バス田川（快速）小倉線について資料に基づき説明を行った。
県のバス対策協議会に各地域（田川市・香春町・北九州市）での交通会議の協議結果（路線の存否、赤字補填の方向性）を報告する必要がある旨の説明を行った。
このため、当該路線の廃止内容、現在までの協議状況、及びバス対策分科会での検討状況について説明を行った。

須藤 会 長：ただいま、事務局より説明があったが、これについて、ご意見・ご質問があれば。
県バス協会専務理事：赤字補填を永続的ではなく検証期間を設けて行うとの案であるが、検証期間3年というのは少し長いという感覚である。実際にどのような方法で検証を行うのか案があれば説明をお願いしたい。

事務 局：1年目の収支・乗降人員等を勘案し、その結果に応じて、それ以降の対応について検討していく必要がある。2年目は1年目の実績を踏まえ検討を行っている最中であり、そのような中で年度途中での路線の廃止や代替手段への移行は難しいことが想定される。よって、3年間を一区切りとして検証期間を設けることとしている。

県バス協会専務理事：1年に1回は見直しを行うということか。

事務 局：そのとおりである。

平成筑豊鉄道：今後の流れのところ、県バス対策協議会が開催され、そこでの協議結果をもって西鉄バス筑豊(株)が路線の廃止、休止、存続を決定するとあるが、沿線自治体が赤字補填による存続を望んでも、西鉄バスの意向によっては廃止になるのか。

事務 局：そのとおりである。

須藤 会 長：それでは議題1についての採決を行う。交通会議としては赤字補填を行うということでの承認でよろしいか。

各 委 員：(異議なし)

須藤会長：議題1の「西鉄バス田川(快速)小倉線」について、交通会議として赤字補填を行うことについて、全会一致で、承認された。

(2) 平成28年度田川市コミュニティバス運行状況と事業評価について

須藤会長：続いて、議題2についてその説明を事務局からお願いしたい。

事務局：田川市コミュニティバスは、「地域公共交通確保維持改善事業」を活用し運行しており、次年度または将来の事業をより効果的・効率的に実施するため、事業の実施状況等を振り返り評価し、九州運輸局にその評価結果を提出することが必要であることについて説明を行った。

評価としては、議題資料P1～4にかけて補助金を受けている5路線11系統のうち、2路線4系統が目標収支率を達成できなかったことについて説明を行った。このうち坂谷・田川病院線(1路線1系統)については、わずかに0.2ポイント目標収支率に足りなかったこと、このため今後他の交通機関との連携を強めていくことの説明を行った。また、鎮西・金川線(1路線3系統)については、今年度新たに地元要望によりバス停留所を設置した旨の説明を行い、今年度以降その効果が現れることが期待されることについて説明を行った。

須藤会長：これについて、ご意見・ご質問等があればお願いしたい。

福岡県：目標・効果達成状況のところ、どのような基準で評価されているのか。

事務局：目標収支率に対して、達成が「A」、未達成の場合、目標収支率に対して10.0ポイントまでが「B」、10.0ポイント以上が「C」で評価している。

福岡県：要するに県の幹線系統補助における評価方法と同じか。

事務局：そのとおりである。

須藤会長：それでは議題2についての採決を行う。原案どおり承認でよろしいか。

各 委 員：(異議なし)

須藤会長：議題2の「平成28年度田川市コミュニティバス運行状況と事業評価について」は、全会一致で、承認された。

3 その他

須藤会長：以上をもって、本日の議題は全て終了した。

最後に、「3 その他」について、委員の皆様、事務局から何かあれば。

事務局：事務局からは特になし。

須藤会長：何もなければ、以上をもって、平成28年度第3回田川市地域公共交通会議を終了する。